

平成 20 年 6 月 12 日

6 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

所長の高橋でございます。本日、私からは 5 点申し上げます。

まずは、「設備の健全性確認」についてです。

当発電所の設備健全性に係る点検・評価計画書につきましては、準備が整ったプラントから、経済産業省原子力安全・保安院に順次提出しております。5 月 16 日には、2 号機・4 号機の計画書を提出し、これにより、全 7 プラントにおいて建物を除く計画書の提出が完了いたしました。

現在、これらの計画書に基づいた点検・評価を実施しているところですが、7 号機につきましては、機器単体レベルの基本点検が概ね終了しており、引き続き、関連する機器の組み合わせによって 1 つの系統としての機能を確認する系統レベルの健全性確認を実施してまいります。系統レベルの健全性確認につきましては、6 月末～7 月上旬を目途に点検・評価計画書を国へ提出するとともに、計画書に基づいた試験等を実施する予定です。

以上のように、当発電所では、設備の健全性確認を着実に進めておりますが、今後も、安全の確認を第一として、予断を持たずに一つひとつ積み重ねてまいります。

2 点目は、「発電所の耐震安全性評価」についてです。

当社では、これまでに実施してきた地質調査結果や地震観測データの分析結果を踏まえ、当発電所の基準地震動を取りまとめ、5 月 22 日に原子力安全・保安院に報告いたしました。

この基準地震動につきましては、国の審議会や県の技術委員会でもご審議いただく予定ですが、当社といたしましては、これらの審議の状況を適切に反映して、発電所の耐震安全性評価を進めてまいります。また、今後、準備が整った部分からサポートの強化などを実施する予定です。

なお、今回の基準地震動に関する内容につきましては、6 月 2 日・3 日に開催した地域説明会やニュースアトム等の広報誌を通じて、地域の皆さま方にもご説明させていただきました。耐震安全性評価の検討状況につきましては、今後も適宜、地域の皆さま方にお伝えしてまいります。

3 点目は、「ふれあい訪問の実施」についてです。

当発電所では、今月下旬から来月上旬にかけて約 2 週間の予定で、地域の方々の声を社員が直接お聴きする訪問活動を実施いたします。

この活動は、これまでも年 2 回行っているものですが、通算で 6 回目となる今回の訪問では、基準地震動の策定をはじめとする発電所の近況について、改めてご説明させていただきます。

私自身も、前回と同様に「ふれあい訪問」に参加し、地域の皆さまのご意見やご要望をお聴きしたいと思います。

当発電所といたしましては、引き続き情報公開を徹底し、透明性の高い仕事を進めてまいるとともに、地域の一員として、皆さまの声や思いをしっかりと受け止め、発電所の業務運営に反映してまいりたいと思っております。

4点目は、「TEPCO 環境月間」についてです。

当社は、毎年6月を「TEPCO 環境月間」とし、全社をあげて環境に関する様々な活動を展開しています。当発電所におきましても、地域の美化運動への参加や環境イベント等を行う予定です。6月29日には、刈羽村の「ラピカ」において、「エコから学ぶ、地球にやさしいライフスタイル」をテーマとしたTEPCO 環境月間記念イベントを開催いたしますので、多くの皆さま方のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、6月19～21日の3日間、柏崎市において「原子力発電所の耐震安全性に関するIAEA国際ワークショップ」が開催されます。全世界の専門家が集まり、地震による原子力発電所への影響について意見交換等が行われるようですが、6月20日の午後には、当発電所をご視察いただく予定と聞いております。当発電所といたしましても、今回の地震で得られた知見と教訓を全世界で共有する観点から、積極的に現場をご案内したいと考えております。また、当日のご視察の様様については、現場公開させていただく予定です。

私からは以上です。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表(運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成20年6月)

平成20年6月12日

発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定検による停止												[3号機] ・3月20日から5月22日にかけて圧力抑制室の点検準備および点検を実施し、ゴミ(塗膜片など)や金属錆などを回収。 [5号機] ・3月31日から5月20日にかけて圧力抑制室の点検準備および点検を実施し、ゴミ(ビニール片など)やボルトを回収。
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定検による停止												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定検による停止												
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.11.15~	第7回 H18.8.23 ~ H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第8回定検による停止												

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

発電所設備利用率(%) (5月末現在)

5月	0.0%
20年度累計	0.0%
運転開始後累計	72.4%

発電所発電電力量(万kWh) (5月末現在)

5月	0
19年度累計	0
運転開始後累計	80,191,836

ドラム缶発生量(本) (H19年度第4四半期)

当期発生本数	1
貯蔵庫累積貯蔵本数	22,378
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H19年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,372
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

構内従業員データ(人) (6月2日現在)

	東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	831	53%
	刈羽村	88	5%
	その他	84	15%
	小計	1,003	73%
県外	120	1,567	27%
合計	1,123	5,167	-
	6,290		100%
協力企業社数(社)		561	

「比率」について端数処理の関係で数値と計が合わない場合がある。

来客情報(人) (5月末現在)

	5月	年度累計
地元	1,078	3,542
県内	1,288	2,432
県外	2,992	4,367
国外	45	65
合計	5,403	10,406

今後の主なスケジュール

予定日	内容
6月18日	夏の花、寄せ植え体験教室(き・な・せ)
6月22日	環境・エネルギー講座 第1回「人とエネルギーの出会い」 (サービスホール)
6月26・27・28日	ピ・ズアクセサリー教室 [柏崎会場] 6月26・27日(柏崎エネルギーホール) [刈羽会場] 6月28日(き・な・せ)]
6月29日	TEPCO環境月間記念イベント エコから学ぶ、地球にやさしいライフスタイル(ラピカ)
7月10日	次回定例所長会見予定
7月17日	コアリズムを体験してみよう(柏崎エネルギーホール)
7月17・18日	第129回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～ 中越沖地震関連を除く～

平成20年6月12日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
	5月20日	7号機	軽油タンク（B）における油漏れについて（区分）	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査中の5月19日、7号機軽油タンク（B）の出口弁の下部に油（軽油）のにじみ跡があることを、パトロール中の当直員が発見した。 ・軽油タンク（B）の出口弁については、事象発生当日には分解点検を行う予定はなかったが、協力企業作業員が誤って当該弁をわずかに開けてしまったもの。 ・点検のために弁を分解する際にはある程度残油が発生するため、養生シートを設置して作業を開始したが、当該弁は点検対象外であったため、油が漏れることを防ぐ措置を事前に行っておらず、油が養生シートに漏れ続けた。このため、分解作業を中断し当該弁を閉め、元の状態に復旧し、油漏れが止まったことを確認したが、その後、養生シート内に漏れた少量の油がシートから防油堤内にこぼれていたものと推定している。 ・防油堤に漏れた油の量は約250ccで、放射性物質は含まれていないため、外部への放射能の影響はない。 ・危険物を取り扱っている系統の弁を分解点検する際には、作業指示書の確認を徹底するなど、作業指示を確実に伝えることとした。
	5月28日	1号機	窒素ボンベ建屋（非管理区域）におけるけが人の発生について（区分）	-
	6月2日	-	3・4号機サービス建屋付近（屋外）におけるけが人の発生について（区分）	-
	6月2日	3号機	タービン建屋付近（屋外）におけるけが人の発生について（区分）	-
	6月5日	6号機	タービン建屋（管理区域）における油漏れについて（区分）	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査中の6月4日、タービン建屋地下中2階の原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン（A）主油タンク室（管理区域）において、分解点検を行っていた原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン（A）軸受油フィルタ油切換弁の養生部の隙間から潤滑油が床に滴下（10秒に1滴程度）していることをパトロール中の当直員が発見した。その後、油漏えい防止のために追加で養生を実施したことにより漏えいは停止した。 ・床に漏れた油は約1.5リットルで堰内にとどまっており、拭き取りによる清掃を実施した。漏れた油には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部へ放射能の影響はない。 ・油フィルタ切換弁の分解点検を実施するにあたり事前に油を抜いたものの、十分に抜けきれていなかったため、異物混入防止用を実施していた養生部の隙間から残油が滴下したものと推定している。 ・今後、潤滑油の配管やタンクの点検にともない弁等を分解する場合は、残油の漏えいがあることを想定した養生を実施する。